

令和2年度長野県立信州医療センターの取り組みのご案内

長野県立信州医療センター 院長 寺田 克



須高地区の皆さまには、日頃より当院の運営にご支援・ご協力いただき、有り難うございます。この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。院外広報誌「かがやき 第13号」をお届けいたします。

平成27年から始まった第2期中期計画も、本年3月で終了しました。この間、東棟の新築(健康管理センター、内視鏡センター、外来化学療法室、地域医療福祉連携室)、産婦人科小児科病棟、地域包括ケア病棟の改修と総合診療科診察室の移設設置などの須高地域の地域包括ケアシステムに密接に関わる部門の拡充を図りました。また、県の政策医療を担う目的での感染症センターの設置を始め、県立病院機構研修センターの移設、遺伝子診療部門の拡充などを行うとともに、病院名を「長野県立信州医療センター」に変更しました。

本年4月から第3期中期計画の開始となります。第3期中期計画では、第2期での取り組みを生かし、これらの機能と運用を活性化させ、地域の基幹病院として、また県立病院機構の中核・政策医療を担う病院として、診療・教育・研究の展開に努めたいと思います。

初年度の主な取り組みは以下のとおりです。

- ① 改修した産婦人科小児科病棟で、分娩を含めて地域の皆さんに積極的にご利用いただけるよう、積極的な広報活動に努めます。また、行政と連携した地域全体で妊産婦を支える「須坂モデル」を推進し、妊産婦のメンタルヘルス向上への取り組みと「産後ケア事業」の推進を図ります。
- ② 須高地区の市町村がん検診事業における須高地区の対策型胃内視鏡検診の成果を住民の方々にご理解いただき、須高医師会ならびに行政との連携をさらに推進し、早期発見、早期治療に繋げたいと思います。
- ③ 昨年度からの小児発達評価の取り組みを継続し、作業療法士による精神発達評価に向けて人材育成、施設整備等を行うなど、小児リハビリの充実を図ります。
- ④ 地域包括ケア病棟の増床を生かし、「在宅医療安心ネット」の後方支援病院として、亜急性期やレスパイト患者さんの積極的な受け入れを継続します。
- ⑤ 感染症指定医療機関として感染症センターの機能を生かし、新型コロナウイルス感染症の診療・治療に関する情報提供を積極的に行っていくとともに、行政や他の医療機関との連携のもと、早期終息に向けての取り組みに可能な限り対応していきます。また、県内唯一のエイズ治療中核拠点病院として、県内の拠点8病院を統括するとともに、エイズに関する正しい知識の普及啓発を継続して行います。
- ⑥ 信州大学との連携講座を令和3年度に開設するための準備を県立病院機構本部とともに行います。これは、総合診療医の新専門医制度に対応したプログラムとスタッフの充実ならびに総合医の養成と定着を推進するための事業です。
- ⑦ 特定行為指定研修機関として、特定行為に係る看護師の養成事業を開始します。これは、医療従事者の負担軽減を目的としたタスクシフティングを推進するとともに、医療ニーズにタイムリーに対応することで質の高い医療を安定的に提供するための取り組みです。

上記に記載した以外にも取り組んでいく幾つかの事業があります。今後も院外広報誌やホームページなどを通じてご案内させていただきます。

職員一同、地域の皆さま、県民の皆さまに「安全で質の高い医療サービスの安定的な提供」ができるよう第3期中期計画初年度も努力してまいります。

私たちは、患者中心のチーム医療を実践し、信頼される病院を目指します。

副院長就任のご挨拶



この度、副院長・診療部長を拝命しました市川徹郎です。私が当院に赴任したのは2000年8月ですので、今年で丁度、勤続20周年を迎えます。節目の年にこの様な役目を頂いた事に、身の引き締まる思いです。

私は普段、主に病理医として診療に携わっております。これは患者さんから取り出した組織や細胞を顕微鏡で見て最終診断を下すものです。即ち小さいものは尿や痰に含まれる目に見えない細胞から、大きなものでは手術で摘出した丸ごとの臓器まで診断します。

これらは日常的にほぼ全ての診療科から依頼を受けて行っており、また検体処理や顕微鏡標本作成には臨床検査技師との共同作業が欠かせません。

以上より日頃から強く感じているのは「私は一人では何もできない」という事です。直接患者さんに接している臨床各科、一緒に働いている全ての医療職と事務職、全ての人々の協力があって、はじめて私の仕事も成り立ちます。

この日常業務で培った精神を生かして、副院長業務に微力を尽くして参りたいと存じます。

副院長・診療部長 市川 徹郎

副院長就任のご挨拶



いつも信州医療センターの業務にご理解を頂き、ありがとうございます。

お陰様で私も当院に着任して11年目となりました。呼吸器内科では、喘息や肺癌、細菌性肺炎、非結核性抗酸菌症といった病気を主に診療し、近隣のクリニックの先生方からも患者さんをご紹介頂き、病診連携を推進してまいりました。また私は前職の信州大学勤務の頃から、診療だけでなく、感染症の研究・教育にも従事して参りました。現在、感染拡大が危惧されています新型コロナウイルス感染症では県の専門家懇話会のメンバーとして、長野県および長野地域における感染対策にも尽力しています。感染症の発生に対応できるよう、当院はかねてより、感染症治療の訓練を積んだチームのマンパワーと、陰圧病室を多数有しております。この特色を生かし、今後も住民の皆様に安心・安全な医療を提供し続けられるよう、努めて参ります。そして、業務に打ち込めるのは、全て地域の皆さまのご理解とご協力あつてのことと、深く感謝いたします。これからもどうぞよろしく願いいたします。

副院長・感染症センター長 山崎 善隆

副院長就任のご挨拶



4月1日付けで、信州医療センターの副院長兼看護部長に着任いたしました。国立病院で看護師としてのスタートを切り、長野県立こども病院で平成5年の開院から26年間、こども達とご家族の看護に携わってきました。こども達から笑顔をもらい、時には心を痛める場面を経験し、親と子の絆の強さを実感しながら、看護を実践してきました。後半の8年間は、副院長兼看護部長として、こども病院の管理に携わっていました。昨年1年間は、病院を離れ、長野県立病院機構本部研修センターで、機構の職員の研修企画・運営等に携わり、機構全体の職員の育成や機構のみならず県内の医療水準の向上に貢献する役割を担って、業務を行っていました。

この4月に信州医療センターの一員となり、「地域に根差した医療を提供している病院」を実感しています。地域の医療・介護・福祉の皆様との連携ができていて、顔の見える関係作りがされています。そんな組織の中で、より大きな看護の力を発揮し、また信頼される看護を提供するために、人材育成は重要です。社会では、想像もできないような大きな変化がありますが、先を見据え、地域の期待に柔軟に対応できる組織作りを進めてまいります。

副院長・看護部長 齋藤 依子

薬剤部長就任のご挨拶



はじめまして。今年度から長野県立信州医療センターの薬剤部長に就任しました堀です。よろしくお願いいたします。

病院では、多くの薬が使われます。私たち薬剤師は、その薬の専門家として病院の中で働いています。では、薬とは何でしょうか？薬とは「人の体に作用して、身体の構造又は機能に影響を及ぼすことが目的とされている物」と定義されます。ですから薬を使えば、体は何らかの反応を示します。薬が良い作用を示せば治療、悪い作用を示せば有害反応になります。

体に入った薬は、血管を通して体内へ届けられます。そして分解され、尿や便と一緒に排泄されます。薬は体の中で、とても複雑に作用しています。薬同士やサプリメントとの組み合わせ、食事との影響で思わぬ作用が現れたり、効果が弱くなったりすることもあります。薬は正しい量と時間を守り、正しく使うことが必要です。私たち薬剤師は、患者さん一人ひとりに向き合って、薬が適切に作用しているかを確認しています。

同じような症状のときに自分の判断で使うことや、他人に勧めることはダメです。また、子供の誤飲事故の多くは、大人の薬を誤って飲んでしまうことで起きています。薬は、小さなお子さんの手の届かない場所で保管するなど正しく管理してください。

当院の薬剤部には、専門薬剤師の資格を持つ薬剤師が多く在籍しています。お薬で気になることがあれば、お気軽にご相談ください。

薬剤部長 堀 勝幸



新任医師紹介



うえまつ のぞむ
植松 望武 医師

- 経歴
令和2年4月
信州医療センター 入職
- 専門
血液内科

- 専門を選んだ理由
大学時代の授業で、血液学の講義を聞き、興味を持ちました。
- 須高地区の印象
坂が多い、大昔に住んでいたことがある、須坂ハーフマラソン。
- 地域のみなさんへ一言
スタッフと協力し、質の高い血液診療を提供できるよう日々精進してまいります。



こやま
小山 みずき 医師

- 経歴
令和2年4月
信州医療センター 入職
- 専門
消化器内科

- 専門を選んだ理由
内科として幅広く医療を学びたいと考えました。また、内視鏡(胃カメラや大腸カメラ)にも興味があり、消化器内科を選択しました。
- 須高地区の印象
山も近く、景色が素晴らしい印象です。また、フルーツ等の特産品も多く、季節の変化を楽しみたいと思います。
- 地域のみなさんへ一言
少しでも地域の皆様のお役に立てるよう努力して参りますのでよろしくお願いいたします。



やまざき だいき
山崎 大樹 医師

- 経歴
令和2年4月
信州医療センター 入職
- 専門
腎臓内科

- 専門を選んだ理由
慢性の病気から急性期の状態まで、幅広い患者さんをみることが出来る科であったためです。
- 須高地区の印象
生まれも育ちも須高地域で、昔からお世話になった方もたくさんいらっしゃる地域です。
- 地域のみなさんへ一言
常勤の腎臓内科医として病院に来ました。専門医不在のために遠くの病院まで通われていた方など、御相談下さい。当院では困難な処置や治療も適切な病院に御紹介します。

新任医師紹介



まるの たかし
丸野 崇志 医師

- 経歴
令和2年4月
信州医療センター 入職
- 専門
呼吸器内科

- 専門を選んだ理由
肺炎・喘息発作など日ごとに状態が変わる急性の病気もあれば、COPD(肺気腫)など慢性の病気もあったり、がんの診断・治療にも携わり、内科の中でも幅広くできるところ。
- 須高地区の印象
これまで転勤で中南信や東信も行きましたが、気軽にアクセスできる距離に温泉(特に硫黄泉)がこれほどある地域は初めてで、温泉好きには最高の立地です。
- 地域のみなさんへ一言
今後もしばらくはコロナウイルス感染症の影響で大変な状況が続くと思われませんが、地域のみなさんが安心して医療を受けられるよう努めていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



すだ あやこ
須田 絢子 医師

- 経歴
令和2年4月
信州医療センター 入職
- 専門
小児科

- 専門を選んだ理由
子どもの誕生から、思春期に至るまで寄り添えるようになりたく、小児科医を目指しました。
- 須高地区の印象
晴れた日に見える菅平やアルプスがとてもきれいだと思いました。
- 地域のみなさんへ一言
未熟ではありますが、地域の方の力に少しでもなれるように、がんばりたいと思います。よろしくお願いいたします。



うめむら けんたろう
梅村 謙太郎 医師

- 経歴
令和2年4月
信州医療センター 入職
- 専門
消化器外科

- 専門を選んだ理由
消化器外科の仕事はがん治療をはじめ、困難との戦いが多くなります。そんな中でも手術を最大の武器に、患者さんにとって何がbestなのか考えて寄り添える医療者になりたいと考え選択しました。
- 須高地区の印象
まだ赴任して間もないですが、町の所々に趣のある景観があるように思います。(今の状況が落ち着けば)散策して回りたいと思っています。
- 地域のみなさんへ一言
微力ですが須高地域のみなさんのお力になれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



あおやぎ せいご
青柳 誓悟 医師

- 経歴
令和2年4月
信州医療センター 入職
- 専門
消化器外科

- 専門を選んだ理由
中学や高校の先輩が多く、面倒見のよい上司が多かったため、消化器外科に入れてもらいました。
- 須高地区の印象
街のあちこちに蔵屋敷が残っていて、製糸業で繁栄した往時がしのべれます。
- 地域のみなさんへ一言
健康な暮らしを送るお手伝いをさせていただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

病院機能評価認定更新



令和元年11月に公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価(3rdG, Ver. 2.0)の更新審査を受審し、令和2年3月6日付けで認定されました。

※病院機能評価とは、患者さんが適切な医療を安心して受けられるよう、医療機関の医療の質や機能を中立的・科学的な立場で評価するものです。

ご支援と寄付のお礼

当院における新型コロナウイルス感染症対策に対し、医療物資や食品等の寄付をいただいております。皆様のお気持ちに心より感謝申し上げます。また、医療スタッフに向けた心温まるお手紙やメッセージもいただきありがとうございます。皆様からいただいた温かいご支援を励みに、今後も安心・安全な医療の提供に努めてまいります。

講座延期のお知らせ

令和2年6月13日(土)開催予定の市民公開講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期いたします。なお、延期後の日程等は追ってご案内します。

新型コロナウイルスから身を守りましょう

全国的な感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令により、外出自粛や休業要請、休校措置が取られ、不安を感じている方も多いと思いますが、正しい知識を身に付け、過度に心配することなく、一人ひとりが感染予防に努めましょう。

当院副院長で感染症センター長の山崎善隆医師に新型コロナウイルスについて聞きました。

● ウイルスの特徴は？

本症の潜伏期間は平均5.2日ですが、実際には、発熱や風邪症状が出現する2~3日前から体内で急速にウイルスが増加することがわかってきました。また、無症候性感染者数もかなり存在すると推定されます。つまり、症状がなくてもウイルスを排出して他人に感染させる手ごわいウイルスと言えます。

● 新型コロナウイルス感染症を疑ったら？

新型コロナウイルス感染症の症状は風邪と似ているため、区別するのが困難です。次の3項目のうち1つでも該当する場合はすぐに**有症状者相談窓口(長野保健福祉事務所026-225-9039)**へご相談ください。

- ① 息苦しさ、強いだるさ、高熱などの強い症状のいずれかがある
- ② 高齢者や基礎疾患がある人で、発熱や咳などの比較的軽い風邪症状がある
- ③ 比較的軽い風邪症状が続く

なお、かかりつけ医を受診する前には、症状がある旨を事前に電話連絡してください。



● 治療方法、治療後の留意点は？

発病者の症状は軽症80%、重症16%、重篤4%と報告されています。発病者への対応は、症状の重さによって違います。

- ① 無症状者や軽症者は、医療機関に入院(今後は宿泊施設にて経過観察を行う予定)
- ② 中等症~重症の者は、病院で酸素吸入やアビガンなどの抗ウイルス薬による治療
- ③ 重篤化した者は、人工呼吸器やECMO(エクモ)など集中治療が可能な病院で治療

なお、PCR検査で2回連続して陰性の場合など一定の基準により、退院や隔離・就業制限が解除されますが、退院後4週間は健康観察が必要です。

● 感染を予防するためには？

こまめな手洗い、手指消毒、咳エチケット(マスクの着用、ティッシュ・ハンカチ・袖で口や鼻を覆う)等の基本的な感染対策を行い、**3つの密(密閉・密集・密接)**を避けることが必要です。



● 今後の見通しは？

今後は、身体距離の確保・マスク着用・手洗い励行などを柱とする「新しい生活様式」への取り組みが求められています。感染者数は、さらに減少することが予想されますが、局地的に感染の第2波、第3波がやってくるリスクは続きます。引き続き一人ひとりができる感染予防対策の実践が必要です。特に、高齢者や基礎疾患のある人は重症化しやすいと報告されていますので、家庭で協力して感染予防をすることが大切です。

当院での新型コロナウイルス感染症対応にご協力をお願いします

● 体温測定を実施しています

正面玄関にて、全ての来院者に対しサーモグラフィーカメラによる体温測定を実施しています。37.0℃未満であれば入館いただけます。

● 全館面会禁止です

病棟全館面会禁止とさせていただきます。なお、退院に関する手続き、洗濯物の受け取り等が必要な場合は、ナースステーションにご相談ください。

● 電話による診療・処方ができます

再診に限り電話による診療・処方の対応をしています。あらかじめお薬を受け取る「かかりつけ薬局」を決めていただき、余裕をもって**電話(026-245-1650)**で9:00~13:00に連絡してください。電話口では「電話による処方箋発行希望」「受診している診療科名」を伝えてください。なお、患者さんの状況により来院が必要な場合があります。

長野県立信州医療センター・外来診療担当予定表

○午前の受付時間は8時30分～11時30分(自動受付機は7時30分～)

○午後の受付時間は各診療科、曜日により異なりますので、外来担当表にてご確認ください。

(令和2年5月12日現在)

診療科		月	火	水	木	金	
総合診療科		宮島 正行 植原 啓之	中野 直人 木畑 稔	原田 輝和 植松 望武	赤松 泰次 小山 みずき	鈴木 一史 関 年雅	
内科	呼吸器 感染症	午前	小坂 充	山崎 善隆	丸野 崇志	山崎 善隆	丸野 崇志(1・3・5週) 久保 惠嗣(2・4週)
		午後	山崎 善隆	小坂 充			
	消化器内科	午前	下平 和久	赤松 泰次	小山 みずき	下平 和久	宮島 正行
		午後				植原 啓之	
	循環器	関 年雅	丸山 隆久	臼井 達也 (長野赤十字病院医師)	関 年雅	丸山 隆久	
	血液	植松 望武	植松 望武	小泉 正幸		小泉 正幸	
	腎臓		山崎 大樹			山崎 大樹	
	糖尿病/生活習慣病	小林 永幸		長澤 武志(終日)	小林 永幸 宮本 真吾(終日)	小林 永幸	
	肝臓				田中 榮司		
	漢方(終日)			布施 修 (1・3週)			
	ペースメーカー外来				関 年雅 (13時30分～)		
	ピロリ菌専門外来	赤松 泰次 (13時30分～)					
	貧血外来		小泉 正幸(14時～)				
	禁煙外来			小坂 充			
脳神経内科(午後)					松野 淳洋(14時～)		
海外渡航者外来(午後)		山崎 善隆(1週) 氏家 無限(3週)					
外科 (午前)	1 診	古澤 徳彦	久保 直樹	交代制	久保 直樹	古澤 徳彦	
	2 診	寺田 克	梅村 謙太郎		寺田 克	梅村 謙太郎	
血管外科(午前)		上沢 修			上沢 修		
呼吸器外科(午前)			坂口 幸治			坂口 幸治	
形成外科(午後)		高清水 一慶 (14時～16時)(予約制)		西岡 宏(2・4週) (14時～16時)(予約制)			
整形外科 (午前)	初診	小松 幸子 笹尾 真司	渡邊 憲弥	佐々木 純	三井 勝博(下肢) 佐々木 純 笹尾 真司	上原 将志(脊椎)	
	予約	三井 勝博	小松 幸子	渡邊 憲弥	三井 勝博 佐々木 純 笹尾 真司	渡邊 憲弥(2・4週) 小松 幸子(1・3・5週) 笹尾 真司(2・4週)	
脳神経外科(午前)		鏡坂 英生(1・3・5週)			伊東 清志		
皮膚科(午前)		翠川 央高		皆川 茜			
小児科	初診(午前)	須田 絢子	南 勇樹	須田 絢子	南 勇樹	信大医師	
	予約 (午後)	予防接種(14時～)	乳児健診(14時～)	予防接種(1・3・5週) (14時半～)	小児循環器外来 (14時～)	予防接種(14時～)	
		慢性外来(16時～)	慢性外来(15時半～)	7・8か月健診(2・4週) (14時半～)	発達心理外来(初診) (15時～)	慢性外来(16時～)	
産科	午前	南郷 周児	堀田 大輔	南郷 周児	豊田 友子/交代制	堀田 大輔	
	午後	豊田 友子/交代制	産後健診				
婦人科	午前	飯高 雅夫 堀田 大輔	飯高 雅夫 南郷 周児	飯高 雅夫 堀田 大輔	春日 美智子	飯高 雅夫 交代制	
	午後	春日 美智子/交代制	春日 美智子/豊田 友子 (交代制)				
泌尿器科	午前	信大医師(交代制)	上野 陽子	宮下 大輔	井川 靖彦	井川 靖彦(2・4週) 信大医師(1・3・5週)	
	午後		上野 陽子 (13時30分～)		井川 靖彦		
眼科	午前	山田 哲也	山田 哲也	山田 哲也	手術	山田 哲也	
	午後	山田 哲也 (予約のみ)(13時30分～)	手術	山田 哲也 (検査・予約)(13時30分～)		山田 哲也 (予約)(13時30分～)	
耳鼻咽喉科	午前	清水 勝利	清水 勝利 (新患紹介来院11時まで)	清水 勝利	清水 勝利 (新患紹介来院11時まで)	杉本 美樹子 (6月19日～)	
	午後			清水 勝利 (14時30分～16時30分)			
麻酔科(ペインクリニック)(午前)		清水 俊行		清水 俊行		清水 俊行	
漢方東洋医学外来(予約制)(午前)			水嶋 文雄				
精神科(午後)					長峯 清英(2・4週) (14時～)		

(診療情報提供書の送付先)長野県立信州医療センター・地域医療福祉連携室 FAX 026-246-5530・TEL 026-246-6577(直)
内容が変更になる可能性がありますので、当院ホームページ等でご確認ください。